

# 愛媛大学無線ネットワーク接続手順（Windows 版）

2020.7.14

本手順書は、802.1x 認証を利用した愛媛大学無線ネットワークへの接続手順を記したものです。対象となる ESSID は「eunet」「eustaff」となります。利用にあたり、ユーザ ID/パスワード（愛媛大学アカウント）が必要となります。本手順書は OS：Windows 10/11 を搭載し認証方式「EAP-TTLS」に対応した無線 LAN を搭載した端末を対象に記述しております。なお、「EAP-TTLS」非対応の端末につきましては、SSID「eduroam」をご使用願います。次ページから説明している手順では、全て「eunet」に接続する場合の手順となっております。「eustaff」に接続する場合は「eunet」を「eustaff」に読み変えてください。

愛媛大学無線ネットワーク接続前の端末上で、愛媛大学無線ネットワーク接続手順書を参照したい場合は、ESSID「eustart」に接続してください。

「eustart」は、愛媛大学と総合情報メディアセンターのホームページにアクセス可能です。

**\* ESSID：eunet は学生、eustaff は職員用となっておりますので、ご注意ください。**

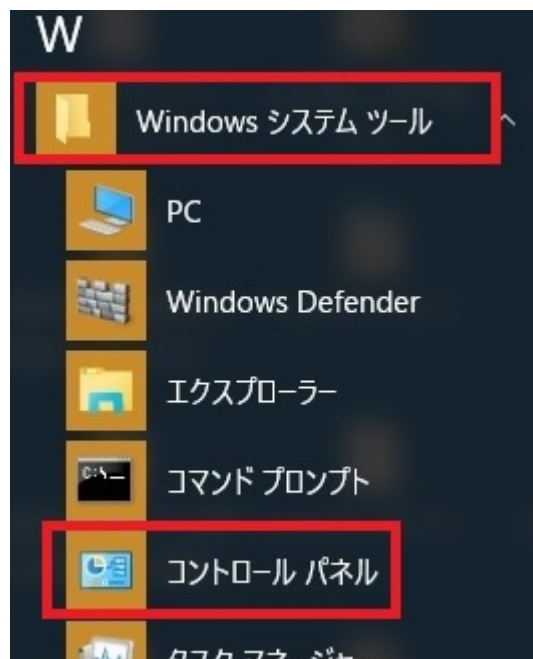
**\* 対象外の ESSID には接続できません。**

**\* 愛媛大学アカウントをお持ちでない方は別途申請が必要です。**

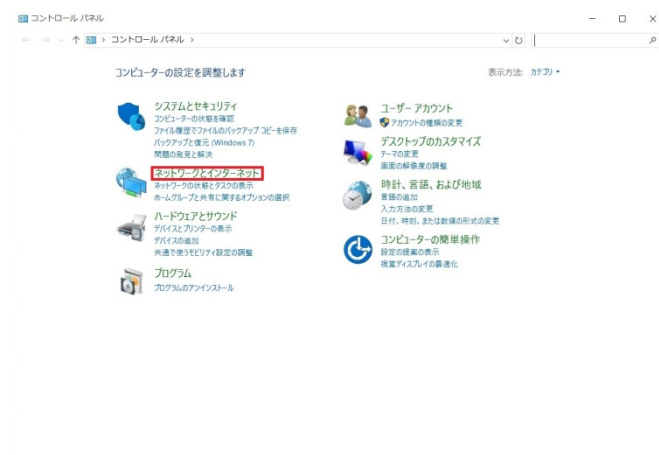
# Windows 10/11

(1) 左下のスタートボタンから「すべてのアプリ」を選択する。

(2) 「Windows システム ツール」を押下し、「コントロールパネル」を選択する。



(3) 「ネットワークとインターネット」を選択する。



(4) 「ネットワークと共有センター」を選択する。



(5) 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」を選択する。



(6) 「ワイヤレスネットワークに手で接続します」を選択し、「次へ」ボタンを押下する。



(7) 「ネットワーク(E)」に「eunet」(又は eustaff)を入力し、「セキュリティの種類(S)」を「WPA2-エンタープライズ」に変更して、「次へ」を押下する。

ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E): eunet

セキュリティの種類(S): WPA2-エンタープライズ

暗号化の種類(R): AES

セキュリティキー(C):  文字を非表示にする(H)

☒ この接続を自動的に開始します(T)

☐ ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(O)

警告: 選択すると、このコンピュータのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

次へ(N) キャンセル

(8) 「接続の設定を変更します」を選択する。

ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

正常に eunet を追加しました

→ 接続の設定を変更します(H)  
接続のプロパティを開き、設定を変更します。

閉じる

(9) 「セキュリティ」タブを選択する。

eunet ワイヤレス ネットワークのプロパティ

接続 セキュリティ

セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ

暗号化の種類(N): AES

ネットワークの認証方法の選択(O): Microsoft: EAP-TTLS 設定(S)

☒ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)

詳細設定(D)

OK キャンセル

(10) 「ネットワークの認証方法の選択」でリストから「EAP-TTLS」を選択する。

※端末に搭載されている無線LANカードによっては

「EAP-TTLS」を選択できない場合がある。

その場合の対応は検討中。

(11) 「設定」ボタンを押下する。

eunet ワイヤレス ネットワークのプロパティ

接続 セキュリティ

セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ

暗号化の種類(N): AES

ネットワークの認証方法の選択(O): Microsoft: EAP-TTLS 設定(S)

☒ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)

詳細設定(D)

OK キャンセル

(12) 以下の内容を設定し、「OK」ボタンを押下する。

「IDプライバシーを有効にする」のチェックを外す

「サーバ証明書の検証」→「これらのサーバに接続」の箇所に「radius.auth.ehime-u.ac.jp」を入力

「信頼されたルート証明機関」の箇所の「Security Communication RootCA2」にチェックを入れる

クライアント認証の箇所の「認証に非 EAP メソッドを選択する」を選択し、更にリストから「暗号化されていないパスワード (PAP)」を選択

TLSのプロパティ

☐ ID プライバシーを有効にする(D)

anonymous

サーバー証明書の検証

これらのサーバーに接続(O):

radius.auth.ehime-u.ac.jp

信頼されたルート証明機関(R):

☐ SecureTrust CA

☐ Security Communication RootCA1

☒ Security Communication RootCA2

☐ Starfield Class 2 Certification Authority

☐ Starfield Root Certificate Authority - G2

☐ サーバーを承認できない場合に、ユーザーを確認しない(P)

クライアント認証

☒ 認証に非 EAP メソッドを選択する(N)

暗号化されていないパスワード (PAP)

☐ Windows アカウント名とパスワード (あればドメインも) を自動的に使う(W)

☐ 認証に EAP メソッドを選択する(E)

Microsoft: スマート カードまたはその他の証明書

構成(C)

OK キャンセル

(13) 「詳細設定」 ボタンを押下する。

eunet ワイヤレス ネットワークのプロパティ

接続 セキュリティ

セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ

暗号化の種類(N): AES

ネットワークの認証方法の選択(O):

Microsoft: EAP-TTLS

設定(S)

☒ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)

詳細設定(D)

OK キャンセル

(14) 「認証モードを指定する」 にチェックを入れ、リストから「ユーザー認証」を選択する。

選択後、「資格情報の保存」 ボタンを押下する。

詳細設定

802.1X の設定 802.11 の設定

☒ 認証モードを指定する(P):

ユーザー認証

資格情報の保存(C)

☐ すべてのユーザーの資格情報を削除する(D)

☐ このネットワークに対するシングル サインオンを有効にする(S)

☒ ユーザー ログオンの直前に実行する(E)

☐ ユーザー ログオンの直後に実行する(F)

最大待ち時間 (秒)(M): 10

☒ シングル サインオン中に追加のダイアログの表示を許可する(L)

☐ このネットワークでは、コンピューターとユーザーの認証に別の仮想 LAN を使用する(V)

OK キャンセル

(15) 「ユーザ名」「パスワード」を入力し、「OK」 ボタンを押下する。

## Windows セキュリティ

### 資格情報の保存

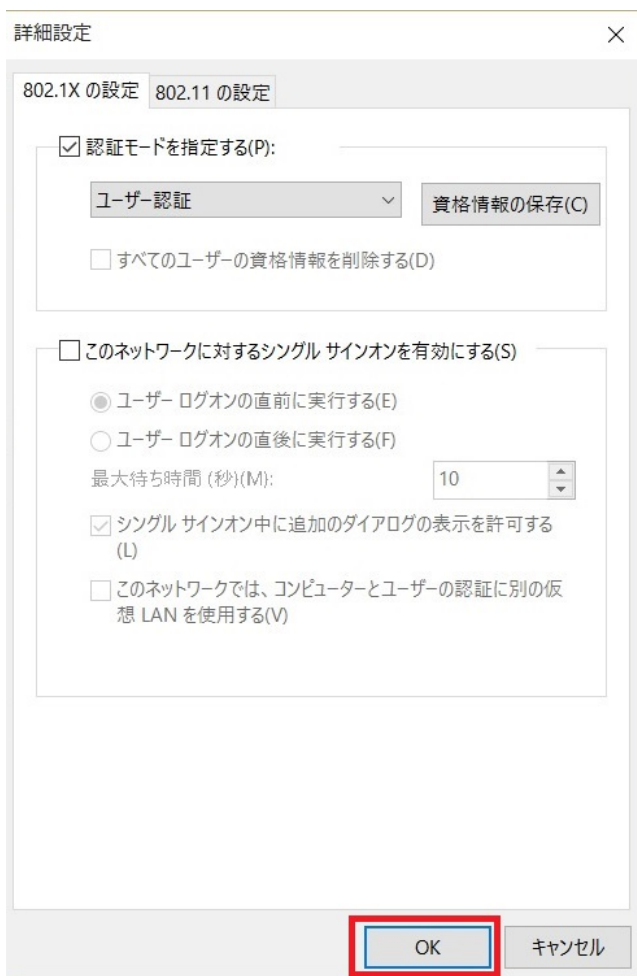
資格情報を保存すると、ユーザーがログオンしていなくてもコンピューターはネットワークに接続できます (更新プログラムをダウンロードする際など)。

ユーザー名

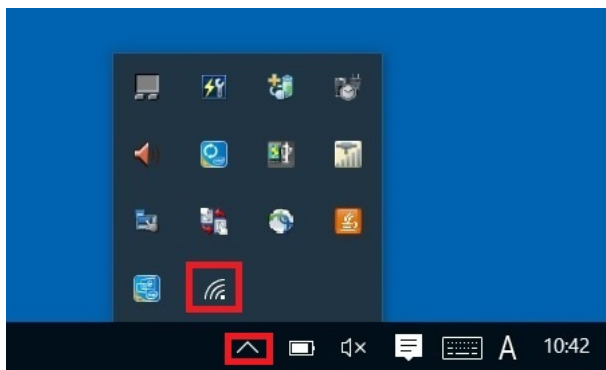
パスワード

OK キャンセル

(16) 「OK」 ボタンを押下する。



(17) デスクトップ画面に戻り、無線アイコンをクリックする。



(18) 「eunet」 (又は eustaff) が接続済みとなっていることを確認する。

接続済みになっていない場合、「eunet」 (又は eustaff) を選択し、「接続」 ボタンを押下し、接続する。